



<報道発表資料>

令和 8 年 2 月 3 日

京都市総合企画局国際都市共創推進室国際担当

令和 7 年度 京都市外国籍市民意識・実態及び 受入れに関する調査結果

京都市においては、外国籍市民の増加や国籍・在留資格の多様化など、近年の外国籍市民を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、外国籍市民の生活実態やニーズ、日本人の受入れに関する意識などを把握することにより、本市にお住まいの日本人と外国人の相互理解が深まり、誰もがより安心して暮らせるまちづくりに向けた施策を検討することを目的に昨年 7 月にアンケート調査を実施しました。

この度、調査結果をお知らせします。

● 調査の概要

調査名	外国籍市民アンケート	外国籍市民との共生に関するアンケート
調査対象	京都市内にお住まいの外国人	京都市内にお住まいの日本人
	京都市内に住民登録のある 18 歳以上の方から無作為抽出	
調査期間	令和 7 年（2025 年）7 月 3 日（木）～7 月 28 日（月）	
調査方法	郵送による配布、郵送・WEB による回収	
配布数	5,000 件	3,000 件
有効回収数 [有効回収率]	1,390 件[27.8%] (郵送 660 件、WEB 730 件)	1,188 件[39.6%] (郵送 860 件、WEB 328 件)
調査内容	京都での満足度や生活の困りごと、地域での交流 など	外国人との交流、外国籍市民の受入れに関する意識や希望 など

※ 外国籍市民アンケートについて、アンケートの途中で回答を終了した場合は、その章までを集計対象（母数としてカウント）としたため、母数は変動する。

● 調査結果の公表先

京都市情報館に報告書を掲載

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000349546.html>

※調査結果の主なポイントは別紙をご覧ください。

<お問合せ先>

京都市総合企画局国際都市共創推進室国際担当（電話：075-222-3072）

< 別 紙 >

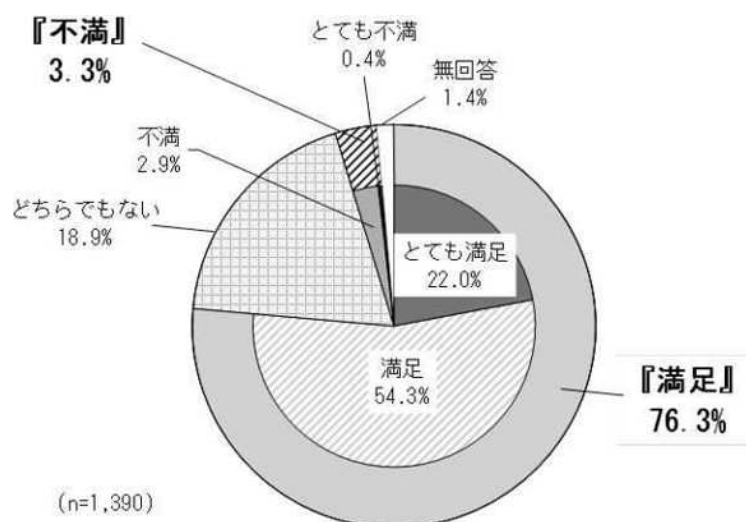
外国籍市民アンケート結果の主なポイント

京都市での満足度

⇒ 76.3%が「満足」（「とても満足」と「満足」を合わせた割合）と回答。

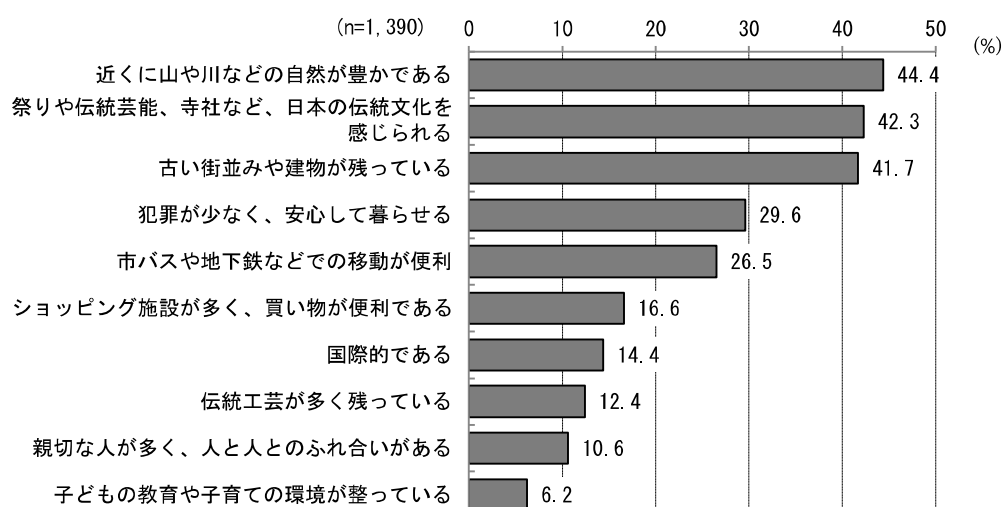
京都の魅力として、「近くに山や川などの自然が豊かであること」が最も多く、次いで、「祭りや伝統芸能、寺社など、日本の伝統文化を感じられる」、「古い街並みや建物が残っている」の順で多かった。

【京都市での満足度】（単一回答）



【京都の魅力】（あてはまるものを3つ選択）

（上位 10 位まで掲載）

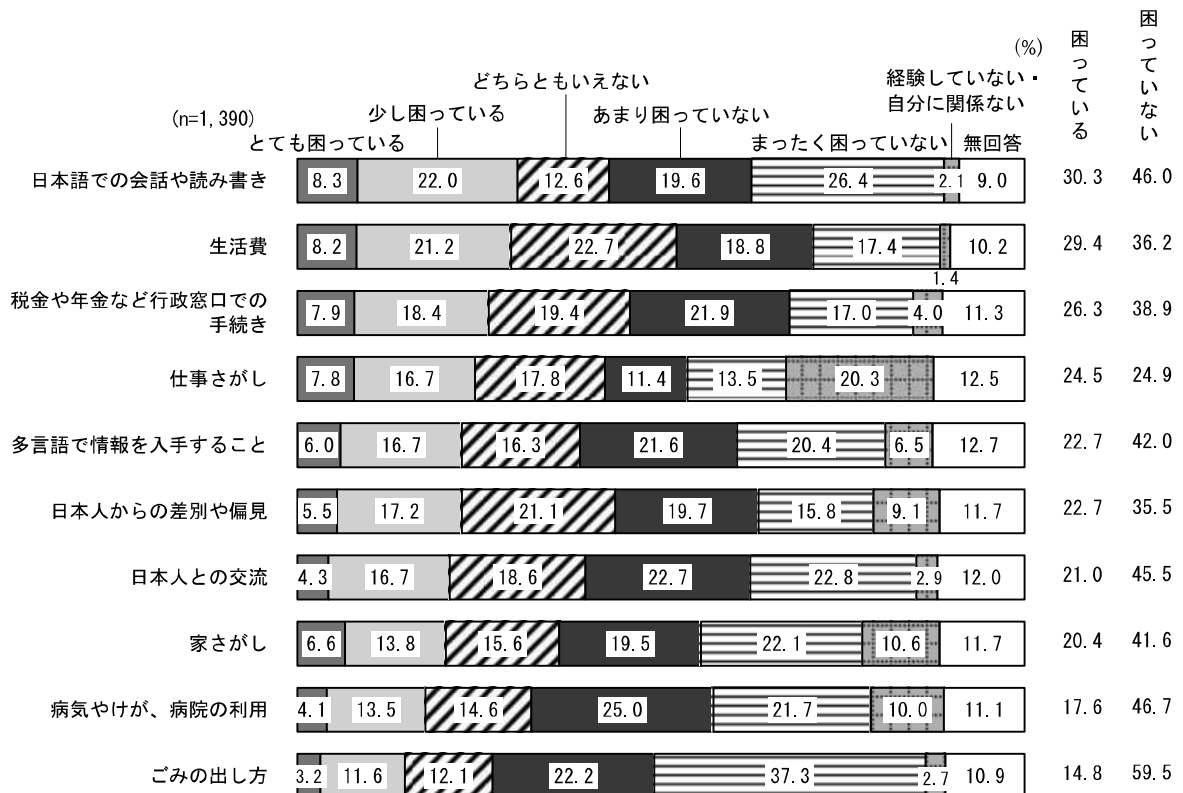


生活の困りごと

生活の困りごとは、「とても困っている」と「少し困っている」を合わせた『困っている』の割合が、「日本語での会話や読み書き」で最も多く、次いで、「生活費」、「税金や年金など行政での手続き」の順で多かった。

【生活の困りごと】(単一回答)

(上位10位まで掲載)

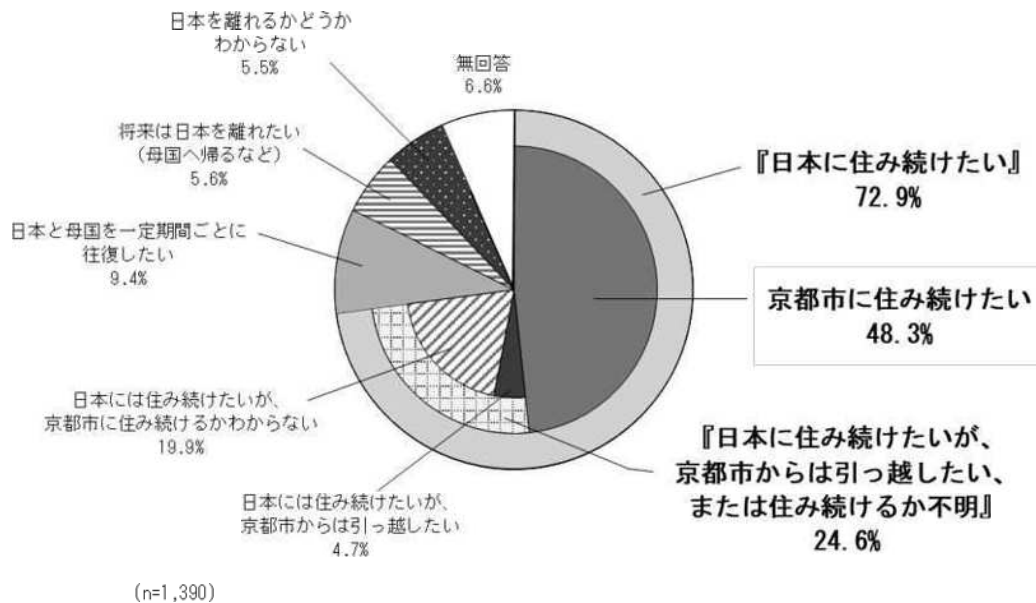


京都市または日本での定住意向

⇒ 48.3%が「京都市に住み続けたい」と回答。

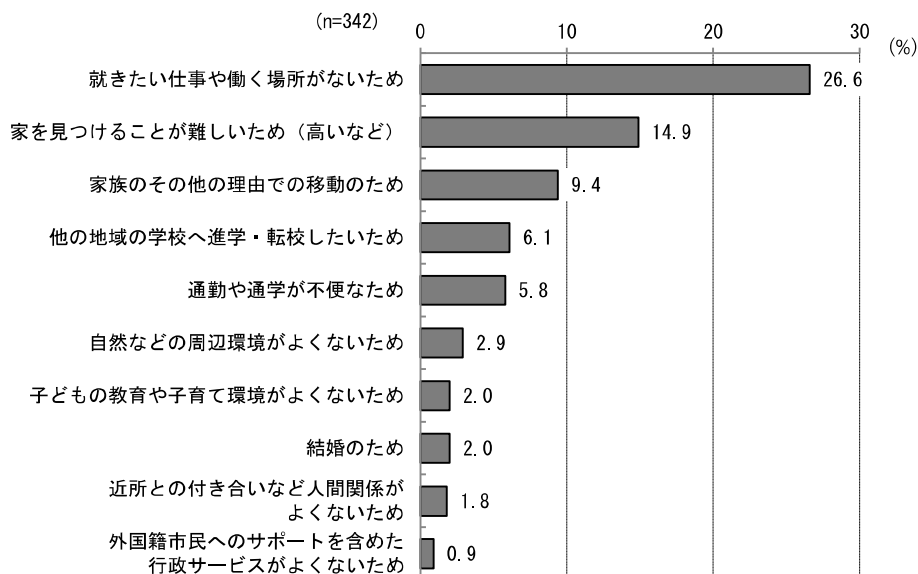
京都市からの転出理由及び住み続けるかわからない理由については、「就きたい仕事や働く場所がないため」が最も多く、次いで、「家を見つけることが難しいため」、「家族のその他の理由での移動のため」が多い。

【京都市または日本での定住意向】(単一回答)



【京都市からの転出理由及び住み続けるかわからない理由】(上位10位まで掲載)

「日本には住み続けたいが、京都市からは引っ越したい」、「日本には住み続けたいが、京都市に住み続けるかわからない」と回答した人への設問(単一回答)

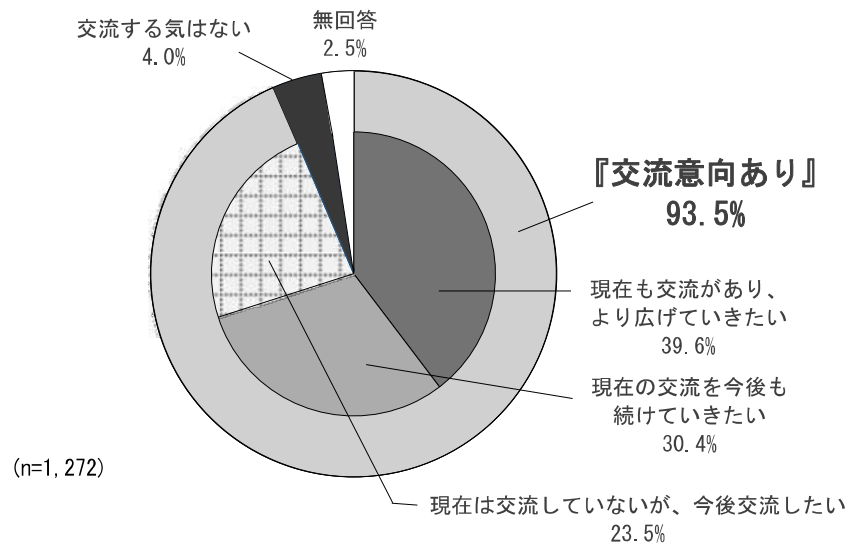


日本人との交流

⇒ 93.5%が日本人との『交流意向あり』と回答。

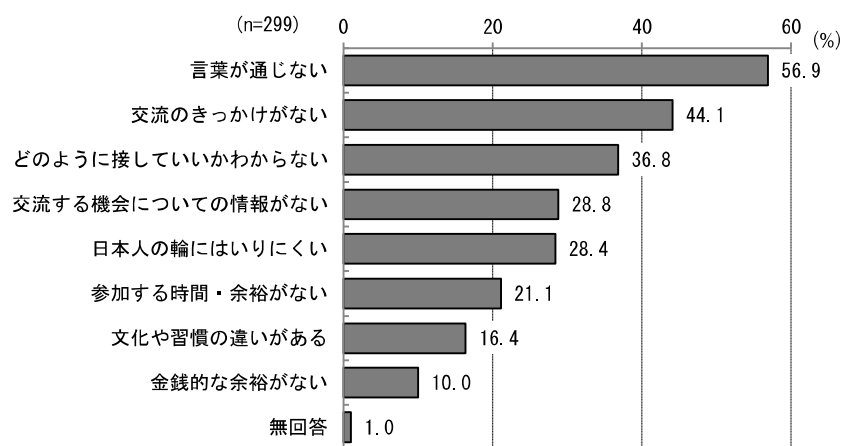
交流したい人が交流できていない理由は、「言葉が通じない」が最も多く、次いで、「交流のきっかけがない」、「どのように接していいかわからない」が多かった。

【今後の日本人との交流意向】(単一回答)



【交流できていない理由】(複数回答)

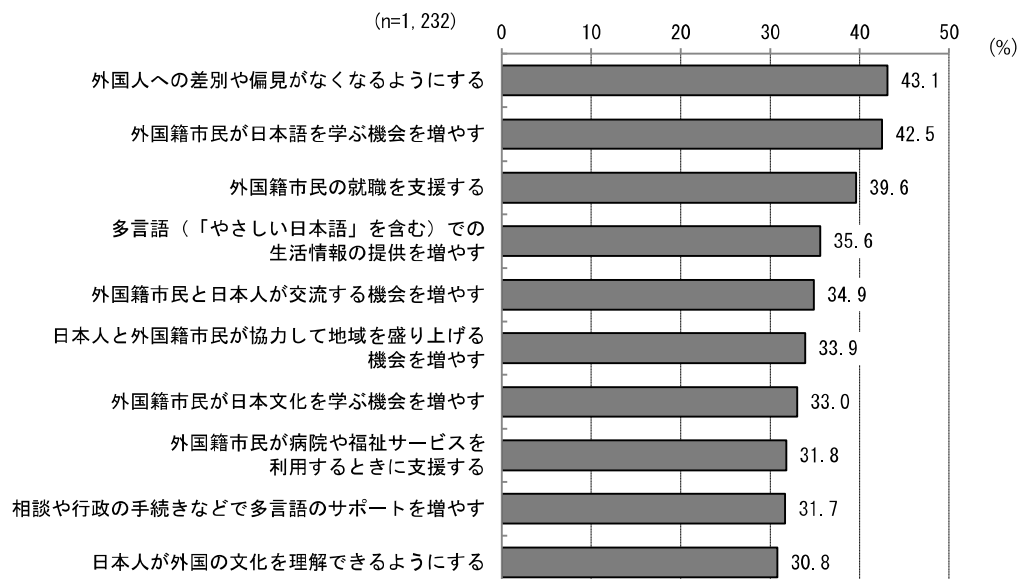
(現在交流していないが、今後交流したいと回答した人への設問)



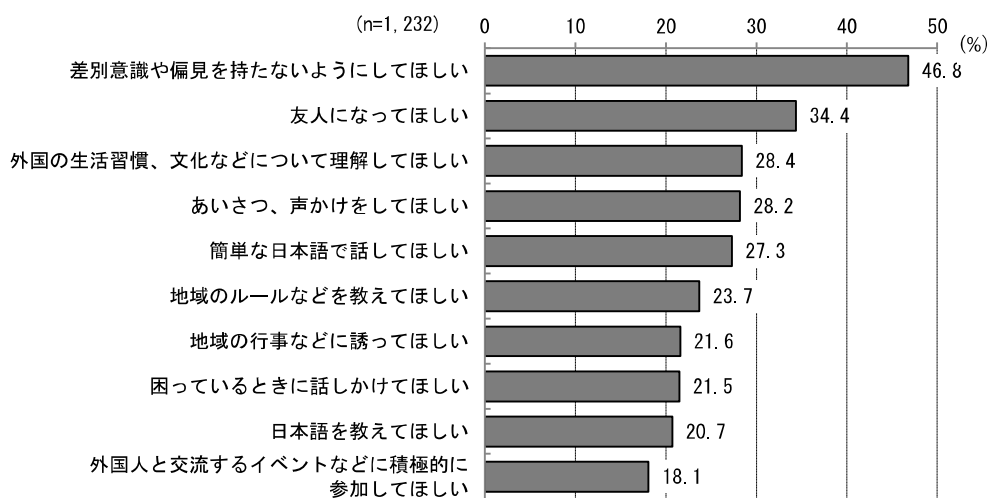
京都市、日本人に望むこと

京都市、日本人の両方に対して、差別意識や偏見をもたないことを望む回答が最も多かった。次いで、京都市には、「日本語を学ぶ機会を増やす」、また、日本人には、「友人になってほしい」という回答が多かった。

【京都市に望むこと】（複数回答） （上位10位まで掲載）



【日本人に望むこと】（複数回答） （上位10位まで掲載）



外国籍市民との共生に関する

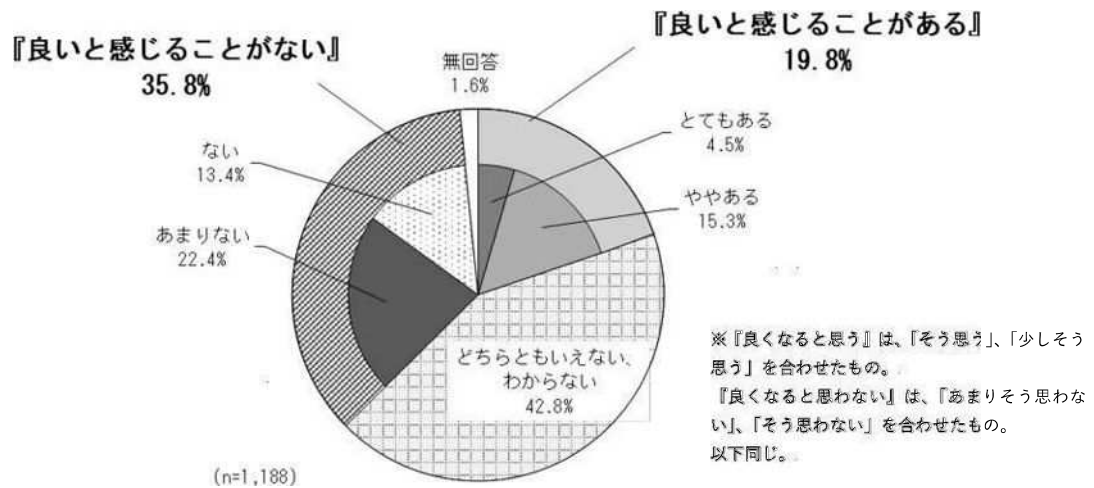
アンケート結果の主なポイント（日本人へのアンケート）

外国籍市民の受入れに関する意識・希望

外国籍市民が増えることで、19.8%が「良いと感じることがある」と回答し、良くなると思うこととして、「外国のことに興味をもつようになる」が最も多かった。

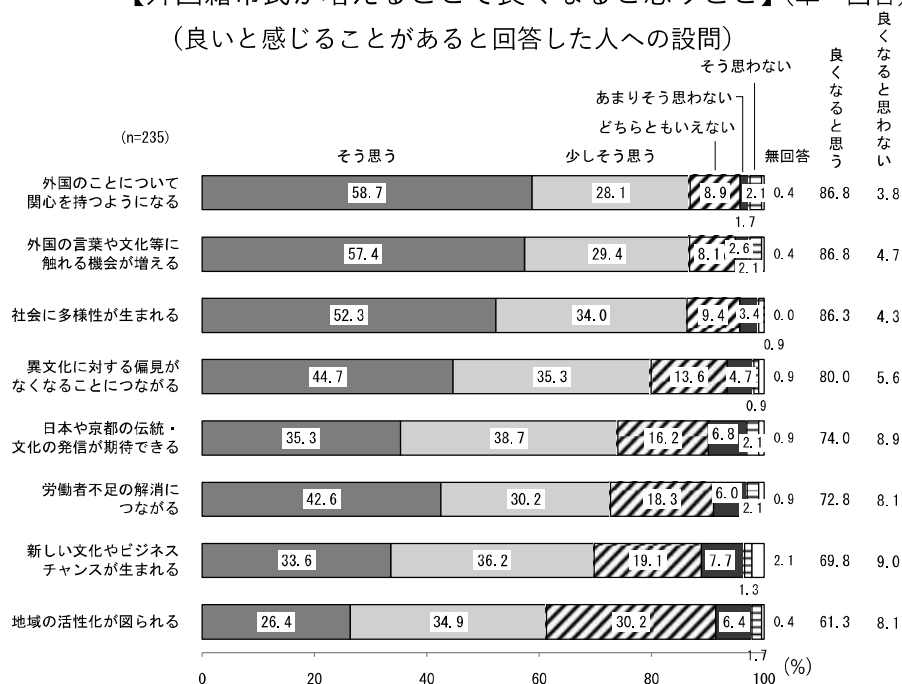
一方で、47.1%が「良くないと感じることがある」と回答し、良くないと思うこととして、「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」が最も多かった。

【外国籍市民が増えることで良いと感じることがあるか】（単一回答）

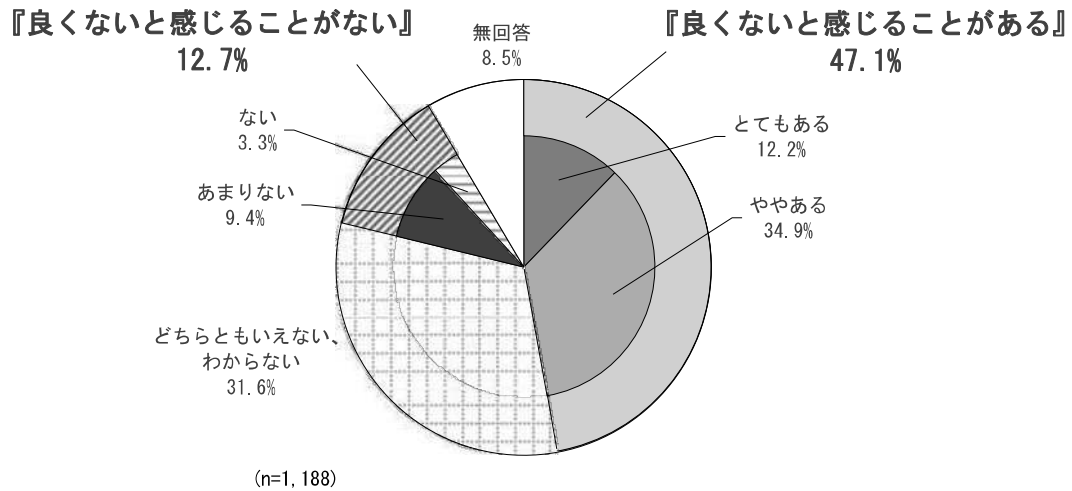


【外国籍市民が増えることで良くなると思うこと】（単一回答）

（良いと感じることがあると回答した人への設問）

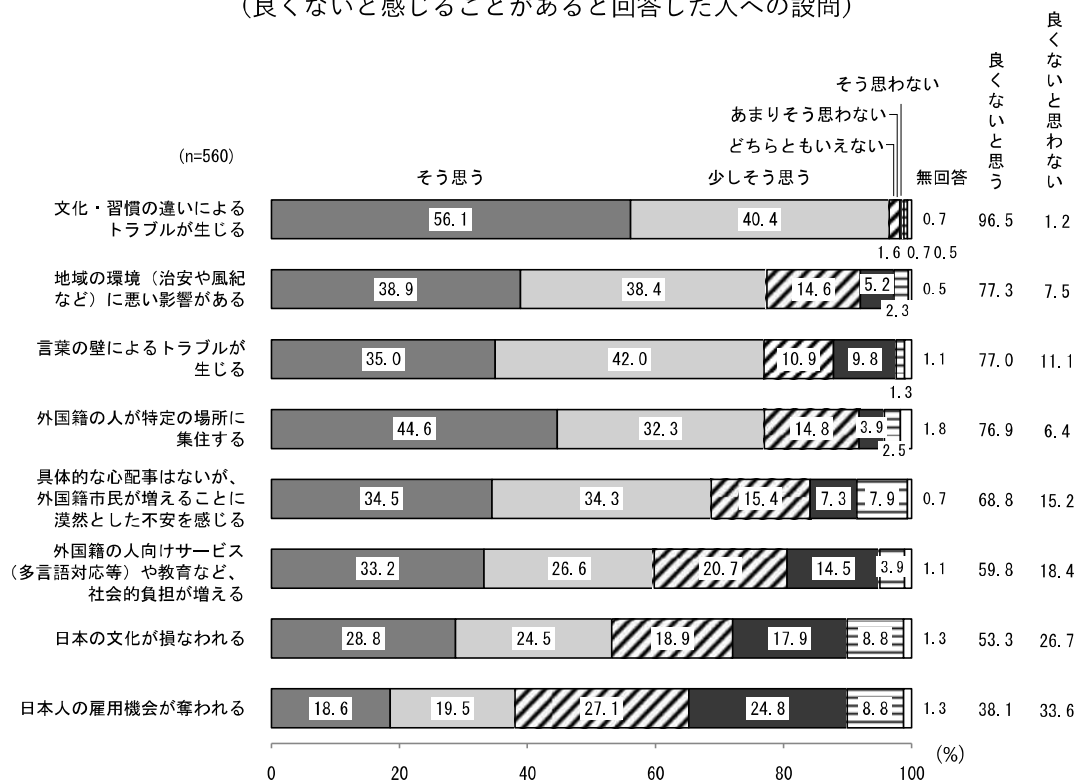


【外国籍市民が増えることで良くないと感じることはあるか】(単一回答)



【外国籍市民が増えることで良くないと思うこと】(単一回答)

(良くないと感じることがあると回答した人への設問)

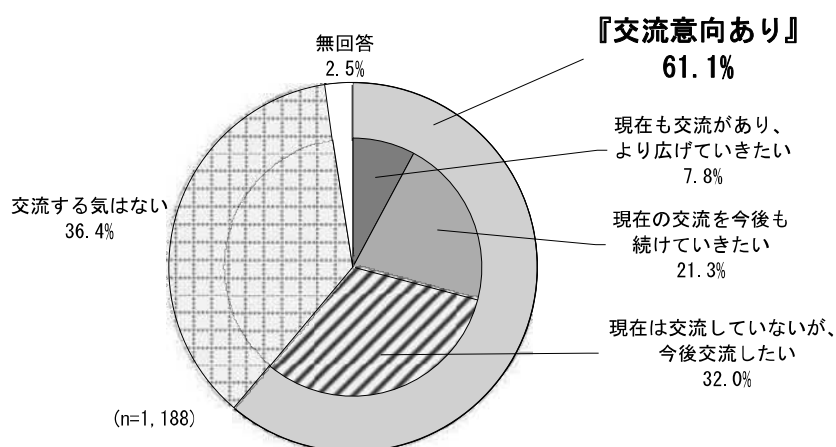


外国人との交流

⇒ 61.1%が『交流意向あり』と回答。

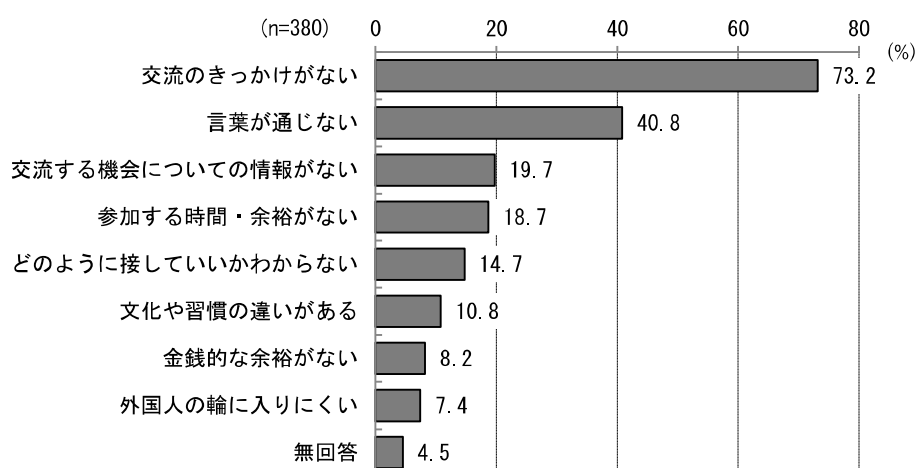
現在は交流していないが、今後交流したいと回答した人が、交流できていない理由は、「交流のきっかけがない」が最も多く、次いで、「言葉が通じない」、「交流する機会についての情報がない」が多かった。

【今後の外国人との交流意向】（単一回答）



【交流できていない理由】（複数回答）

（現在交流していないが、今後交流したい人と回答した人への設問）



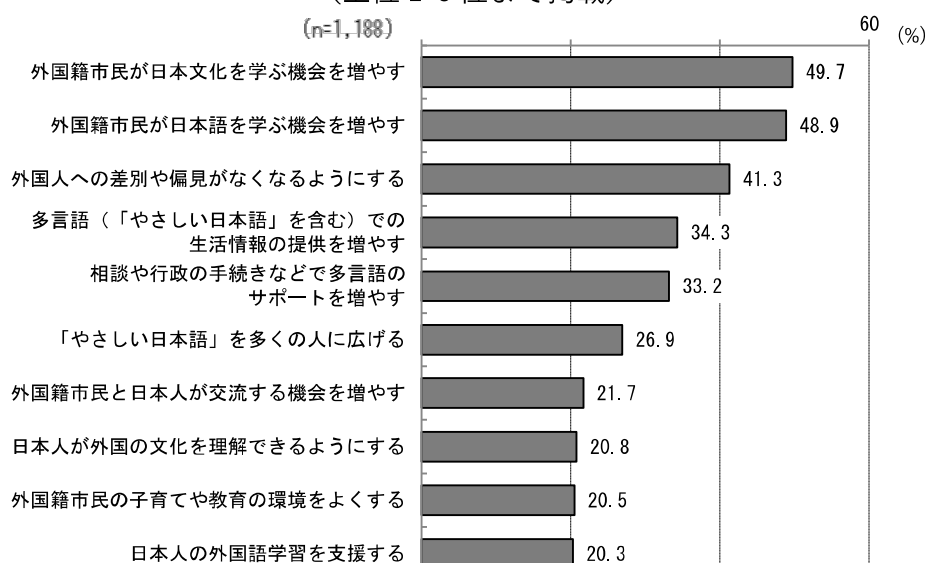
京都市、外国籍市民に望むこと

共生社会の実現に向けて京都市に望むことは、「外国籍市民が日本文化を学ぶ機会を増やす」が最も多く、次いで、「外国籍市民が日本語を学ぶ機会を増やす」、「外国人への差別や偏見がなくなるようにする」が多かった。

外国籍市民に望むことは、「日本の習慣、生活ルールを理解し、行動してほしい」が最も多く、次いで、「日常的にあいさつするなどのコミュニケーションをとってほしい」、「日本文化を学んでほしい」が多かった。

【京都市に望むこと】（複数回答）

（上位10位まで掲載）



【外国籍市民に望むこと】（複数回答）

